

## スリルいっぱいの滝滑り

～清流じゃぶじゃぶ～

7月16日(日)、鉾山町で『清流じゃぶじゃぶ』(NPO法人モモンガくらぶ主催)が行われました。

この催しは、鉾山町を流れる川の上流に向かって歩く沢登りや滝滑り、本格的な道具を使った岩登りなど、夏の楽しいひとときを過ごしてもらおうと、毎年この時期に行われているもので、小学4年生から大人までの19人が参加しました。

この日は、ふおれすと鉾山から約4.5km山奥に入ったところにある三段の滝の近くまで車で移動し、滝への飛び込みなどを楽しみながら、カマンベツ川の清流を三段の滝までゆっくり散策。午後からは、三段の滝で滝滑りや岩登りを楽しみました。

参加した深瀬秀郷さん(中央町)は、「ふおれすと鉾山は子どもがいつも利用しています。わたしは初めての参加ですが、子どもに戻ったようでとても楽しいですね」と話してくれました。



## 冷たいそうめんに舌鼓

～ささ舟遊びとそうめん流し～

7月8日(土)、郷土資料館で『ささ舟遊びとそうめん流し』が行われました。

この催しは、郷土資料館体験学習の一環で、子どもたちに夏の遊びや食に親しんでもらおうと、毎年この時期に開催しているもので、親子連れなど約50人が参加しました。

参加者は、初めに郷土資料館ボランティアグループ『SLG』のメンバーから指導を受けながら、ささ舟作りに挑戦。完成すると、早速、同館に隣接する川上公園の池や小川に浮かべていました。

ささ舟遊びの後は、長さ約8mの樋を使ったそうめん流しがスタート。参加者は、次々と流れてくるそうめんに舌鼓を打ちながら、登別の夏を満喫していました。



## 外国からの武力攻撃に備えて

～第1回登別市国民保護協議会～

7月14日(金)、鉄南ふれあいセンターで『第1回登別市国民保護協議会』が開かれました。

この協議会は、外国による武力攻撃などから市民の生命・財産などを保護する『登別市国民保護計画』の策定や、市民の保護のための施策を総合的に推進するために設けられました。同計画は、北海道が示したモデル計画を基に、平成18年度中に策定することになっています。

この日は、陸上自衛隊や北海道開発局、北海道、警察、郵便局、医師会などの関係機関から委員20人が出席。協議会の会長を務める上野市長から各委員に辞令が手渡されました。

今後、市は、登別市の地理的、社会的特性を考慮した登別市国民保護計画の素案を協議会に諮問。市民や関係機関の意見を聴いた後、協議会から答申を得て、来年2月に計画を決定する予定です。

